

人権教育だより

3 学期 1・2 年生

島根県立大東高等学校



2 年生 人権 HR 差別をなくすためにはどうしたらいいのか？

【 生 徒 感 想 】

- ⇒ まずは自分の考えや世界への見え方を広くすることが大切だと思います。実際に差別されている人の話を聞く機会を設けて、聞かせていただいたうえで自分の意見や自分なりの考え方を持つことが大切だと思います。
- ⇒ 一人一人が相手を尊重する相手を思いやる考え方や行動をすることが大切だと思います。また、差別意識を持った人に流されないことも大事だと思います。
- ⇒ 差別をなくすためには、広い視野でものごとを考えられるようにならないといけない。無関心な人を減らしていく必要がある。講演や知識を広めるような活動に今後も参加して、具体的にかかわっていくことが大切だと思います。



1 年生 人権 HR 性の多様性について

【 生 徒 感 想 】

- ⇒ 小学生くらいのときから少しずつ性の多様性について勉強するようになり、理解できている部分も多かったけど高校生になってさらに深く考えると今だからこそ気づけることもあり良い勉強になりました。実際これまでたくさんの人と関わってきたしこれからもたくさんの人と出会うと思うので正しい価値観を大切に人と接することを心がけたいです。現代の社会では性の多様性がまだ完全に理解されておらず、悩んでいる人がまだ多くいると思うのでそういった人が減ってみんなが暮らしやすい社会になると良いと思います。
- ⇒ 性の多様性について学び、これまで自分が無意識のうちに持っていた思い込みに気づかされました。人の性や生き方は一つではなく、それぞれが大切にされるべきだと感じました。違いを知ることで不安や偏見が減り、相手を尊重する気持ちが生まれると思います。また、身近な場面で困っている人がいたら、勇気を出して声をかけたいです。誰もが安心して自分らしく過ごせる学校や社会をつくるために、正しい知識を持ち、相手の立場に立って考えることの大切さを学びました。これからの日常の中で思いやりのある行動を心がけていきたいと思いました。

- ⇒ 今日の授業では、性は単純に男女の二つに分けられるものではないということを強く実感しました。性には生物学的な性だけでなく、性自認や性的指向、性表現などさまざまな側面があり、それぞれが人によって異なる組み合わせを持っていることを知りました。これまでの自分が「当たり前」だと思ってはいけないなと思いました。また、無意識の言動が誰かを傷つけてしまう可能性があることにも気づき、相手の立場を想像する大切さを感じました。
- ⇒ 未だに残っている男女での差別や区別、性についての考え方について理解を深めることができた。男性だから、女性だからといった固定観念は簡単には変わることは難しいと思うけれども「ありのままの自分の大切さ」が重要視される世界に少しでも近づいていけたらいいと思った。最近ではLGBTQなどといった多様性が認められる社会になりつつあるので正しい知識と理解を深めていけるようにこのような授業や講演会の機会を大切にして、周りの人に広めていけるようにしたいと思った。



ピンクシャツデーについて

◆ピンクシャツデーとは？

ピンクシャツデーは、ピンクシャツを着たりピンク色のものを身に着けることで「いじめ反対」の意思表示をする日です。

「ピンクシャツデー」は、2007年、カナダの学生2人から始まったいじめ反対運動です。ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられました。それを聞いた先輩2人が50枚のピンクシャツを購入、インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけました。翌日学校では呼びかけに賛同した数百名の生徒がピンクのシャツや小物を身に着けて登校。学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったそうです。このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに反対する活動が行われています。カナダでは、この出来事があった日が、2月の最終水曜日でした。それ以降、2月の最終水曜日にいじめについて考え、いじめられている人と連帯する思いを表す1日としています。

